



みゅーず

藤井寺高等学校 図書委員会発行 2021/3/19 第3号

新刊紹介

オルタネート	加藤 シゲアキ	(新潮社)
魔女の旅々 1~3	白石 定規	(GAノベル)
#ある朝殺人犯になっていた	藤井 清美	(U-NEXT)
押し燃ゆ	宇佐見 りん	(河出書房新社)
あの日の交換日記	辻堂 ゆめ	(中央公論新社)
濱地健三郎の ^{かくれ} 幽たる事件簿	有栖川 有栖	(角川書店)
カケラ	湊 かなえ	(集英社)
ハギレで作るかわいい布こもの		(ブティック社)



推薦図書

ペンギンうらない 坂崎千春 作

本書はビブリアマンシー(書物占い)です。ビブリアマンシーの起源は、聖書とされ、開いたページの中の言葉を、ご神託として受け取るというものだったようです。ペンギンが占うこの本は、気軽に試せる「ヒント本」です。心の中に浮かんだ問いを、風にきくように、楽しく使ってみてください。

推薦者 図書委員

「多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。」 Jam 作

普段の生活の人間関係で、モヤモヤしたりイライラしたり……

かわいい猫たちが四コマ漫画の中でそんな不安な気持ちと上手に付き合う64の方法を一緒に考えてくれたり、教えてくれる一冊です。

人間関係などで嫌なことや困ったことがあれば、この本をぜひ手に取ってみてはいかがでしょうか。答えが載っているかもしれません。

推薦者 図書委員

「不思議の国のアリス」 ルイス＝キャロル 作

「不思議の国のアリス」と聞くと、みなさんは映画を思い浮かべますか？

それとも絵本を思い浮かべますか？なんとなくストーリーを知っている人は多いと思います。映画や絵本に親しんでいても、ぜひ小説で読んでみてください。

「不思議の国のアリス」は、イギリスの数学者であるルイス＝キャロルによって書かれた物語です。好奇心旺盛なアリスがウサギを追いかけてウサギ穴に落ちていくことから物語は始まります。小瓶の飲み物を飲んで小さくなったり、キノコをかじって大きくなったりしながら、不思議な世界の変な住人たちとアリスはびっくりするような冒険を繰り広げます。

アリスの物語は、答えが見つからないなぞなぞや、その当時よく知られた童謡や詩のパロディがあちらこちらにちりばめられていて、何度読んでも新しい発見があります。映画や絵本では味わうことができないルイス＝キャロルの言葉遊びをぜひ感じてください。

アリスのように不思議の国に迷い込んでみてください。

推薦者 英語科 坂本先生



新年度は、4月12日（月）から開館の予定です。